

# 動物園怪談画劇

Inokashira Park Zoo 2013

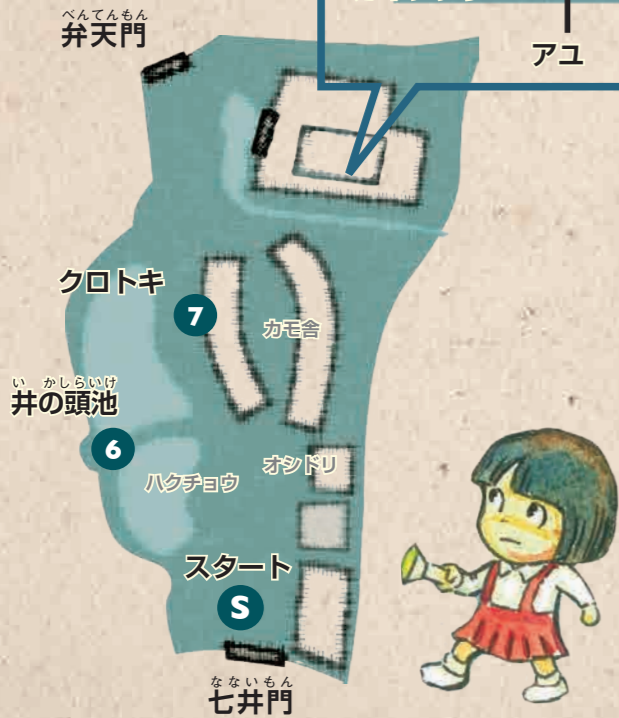


どうぶつえんかいだんがげき



# 井之頭百物語

いのかしらひやくものがたり



水生物園 (分園)

スタンプラリー  
やりかた

園内の 1~9 のポイントをめぐりましょう。動物を観察して、クイズをとき、正しいと思うほうにスタンプを押してください。9ポイントすべてをまわったら、ゴールのスタンプを押してお土産をもらってください。



この旗が目印

動物園 (本園) S からスタートし

→ ゴールは水生物園 (分園)

た場合

の G ゴール

水生物園 (分園) S からスタート

→ ゴールは動物園 (本園) の

した場合

G ゴール



正門を出て歩道橋をわたった先が水生物園 (分園) だよ

動物園 (本園)



何かがいたような動物舎

これは、よく子供を連れて井の頭自然文化園  
に行くという、Tさんから聞いたお話。



私は、近所に住んでいるので、人も少なく  
て動物もよく動いている、朝一番に動物園に  
行くことが多いんです。でも、いつ来ても、  
何もいない動物舎があるんです。賑やかな動  
物園で、ここだけ別世界のように静かで、な  
んだか、ひんやりした感じもします。床には、  
糞らしきものが落ちていたり、果物の食べ残  
しがあったりと、何かがいた気配は残ってい  
るんですよ…。

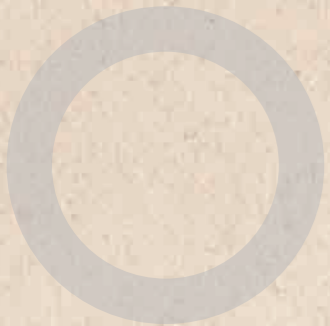
いったい、どんな動物が飼育されているん  
ですかね？

Tさんは今でも不思議に  
思っているそうだ。



クイズスタンプ

1 ムササビ



A



B

屋根の上の足音



動物園の動物病院の裏には、夜間の緊急時や人工哺育に対応する職員の住宅があつて、Yさんが一人で住んでいる。そのYさんのお話。庭にあるビワの木の実が熟しきつた梅雨のある日のことでした。私はいつものように寢床に入り、部屋の明かりを消しました。その日はむし暑くて、なかなか寝つけずにいたんです。すると、突然――、

ドタツ、ドタドタドタドタ、ドタ！

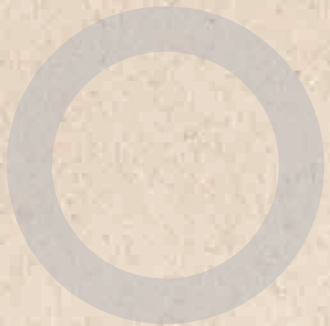
――何か大きなものが動く音が屋根の上から聞こえてきました！びっくりして飛び起きましたが、その音は私の頭の上まで来たところでピタツと鳴り止み、その後は静寂が広がるだけでした…。



この音は、数日間続きました。恐る恐る窓の外を見たこともありましたが、庭のビワの木が揺れているだけなのです…。

クイズスタンプ

2 ハクビシン



A



B

もう一頭は壁の中

いつも人で賑わっているゾウ舎。ここにいるのは「はな子」だけではない。壁のなかに人知れず、もう一頭のゾウがいるという。

ゾウ舎の外側の壁をじいっと見ていると、巨大な横顔が見えてくる。「はな子」と同じアジアゾウだ。



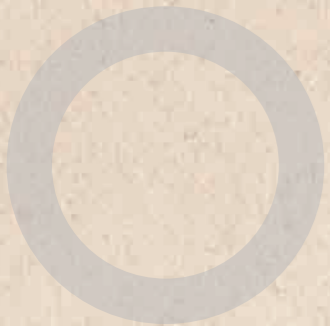
聞くとところによるとこのゾウは、ゾウ舎をつくったときには確かにいなかったのだが、いつの間にか壁に入りこんでいたそうである。気味悪かった施設係が何度、壁を塗り直しても、壁を張り替えても、このゾウはいつのまにか戻ってきてしまう…。

ついには、あきらめて今でもそのままにしてあるのだが、毎日、少しずつ形が変わっていき、うわさという噂もある。だれもそのことを確認しようとはしないのだが…。



クイズスタンプ

3 アジアゾウ



A



B

園内の警備員をしていたS  
さんのお話。

園の奥、彫刻館やアトリエ  
館のあたりは、樹木が鬱蒼と  
して、夜は真つ暗なんです。

その日は、朝から雨が降り続き、いつも  
以上に静かでした。夜の見回りをしていると、  
アトリエ館のほうから、ゴトン…ゴトン…と  
いう音が聞こえます。さては、誰かが侵入し  
たかと、駆けつけたとたん、音はピタツと止み、



シーンとして何の気配もありません。きつと気  
のせいだったんだと思います。きつと気  
でも、館内をライトで照らしたときに、二階  
に白いヒゲをたくわえた人影を見たような気が  
するんです…。

調べたら、その日、3月4日は北村西望さん  
が亡くなった日だったんですね。



クイズスタンプ

4 アトリエ館



A



B

鶴の声に気をつけろ！

細かな茶色い模様の体、大きな目をしたこの小鳥は、ふだんは夜にしか鳴かない。「ヒューーイ」という長い音をゆつくりと何回も繰り返す。あいだに、「キューーイ」と、もつと高い声が混ざることもある。遠くまで届く声なので、どこから聞こえてくるのかわからない。暗い山道で聞いたら、別の世界からの



誘い声ともとれる。

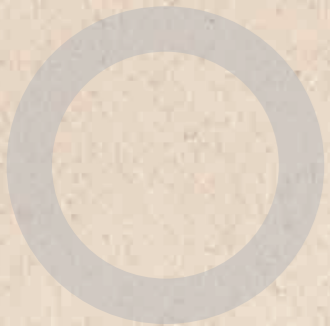
この鳴き声は、サルの頭、タヌキの胴、へビの尾、トラの足をもつ、とらえどころのない妖怪「鶴」の声であると恐れられてきた。よくわからない妖怪なので、その時、何が起きるかわからない。

昼間の動物園でこの声が聞こえてきたら、それは多くの場合、急に曇って暗くなってきたときであろう。夕立に遭わないようにさっさと家に帰ろう。



クイズスタンプ

5 トラツグミ



A



B

# 動物園怪談迷路

どうぶつえんかいだんめいる







水生生物園怪談迷路

まのせいふつらんかいたんぬいる

池の底



ずっと昔から武蔵国のこの地には、井の頭池という池がある。かつては多くの水が湧き出で、水面は澄みわたり、水中にたなびく水草や底の石が、はつきりと見えるほどだった。しかし、今では湧水の量が減り、水は濁り、池の底どころか泳ぐ魚も見えなくなった。しまった。濁った水で底も見えなくなった池は、いつしか底なし沼になり、一度落ちたら二度と出てはこられない。暗く濁った水底には、池に呑み込まれた様々なものが沈んでいるという。



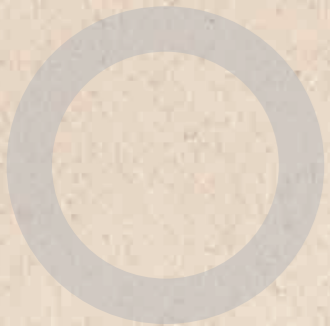
長雨のあとに池の底を覗きこむと、不思議と澄んだ水のむこうに、呑み込まれたものが見えると言ひ伝えられている。澄んだ水底に魅入られ、そのまま池に入り、戻らない者もいるという…。

井の頭池には、何か潜んでいるのだろうか…。

クイズスタンプ

6 井の頭池

6



A



B

若くして頭の羽が抜ける



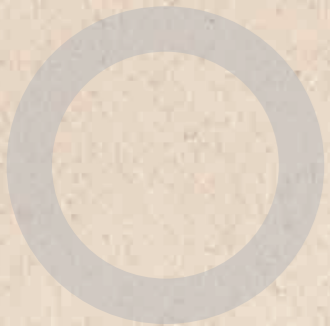
朱鷺色と呼ばれる日本の「トキ」の淡い赤色や「シヨウジヨウトキ」の鮮やかな朱色。トキの仲間には種類によってさまざまな色の羽をもち美しい。しかし、このトキに色はない。おお昔、このトキの頭には美しい何色もの羽が生えていたという。そのことを自慢し、自分たちがトキの中で一番美しいと、いい気になった。頭の羽をいつそう目立た



せることに熱中したが、それが天敵へ自分たちの居場所を知らせる目印になり、やがて、ほとんどが殺されてしまったのだ。わずかに生き残ったこのトキの頭に羽は無かった。無いのではなく、子どものうちに頭の羽がすべて抜け、目立たない禿げ頭でその後の人生をひっそりと送るようになったのである。

クイズスタンプ

7 クロトキ



A



B

子を痛めつける鳥

水生物園の水生物館に暮らすカイツブリのつがい。このつがいは毎年のように卵を産み、雛を育てているのだが…。

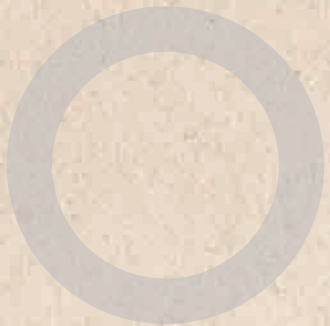


雛が大きくなり、自分で魚を捕れるようになってくるころ、今までかいがいしく世話をしていた親鳥が、突然、わが子をつつき始めた！いつものように近づいてくるわが子をつき返し、せっかく捕った魚をも奪いとる。それはもう悪鬼のごとし。何度も何度も追いかけて、つつき続ける。これまで大切に育ててきたわが子を、なぜそれほどまでに痛めつけるのか…。しかも、担当の飼育係も、それを止めるどころか微笑ましくそれを眺めているのだ…。



クイズスタンプ

8 カイツブリ



A



B

魚はこれを食べてはいけない

黄色っぽい体をしたこの魚の泳ぎ方は何か  
がおかしい。素早く泳いで身をひるがえすと、  
水底の石の表面に顔を打ち付けている。一匹  
だけでなく、すべての魚が同じである。まるで、  
自分たちのおこないをあやまるかのように何  
度も何度も繰り返し打ち付けている。さらに、



数匹、ほかの魚をさかんに追いまわしている。  
何かにとり憑かれ、平和な川がたえられなく  
なったのだろうか。

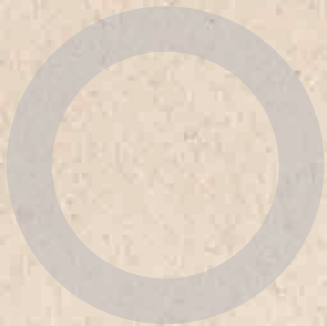
彼らを変えたのは、石の表面にはえる藻で  
あった。藻をひとたび口にすると、そのおい  
しさが神経に作用し、もっと食べたくなる。  
顔を打ち付けているのではなく、泳ぎながら  
も藻を剥ぎとって食べていたのだ。藻を横取  
りされないように、さらに  
貪欲になる。

世の中には恐ろしい食  
べ物があるものだ。



クイズスタンプ

9 アユ



A



B

## ゴールスタンプ



あなたのまわりでも

何かが起きていませんか？



井の頭自然文化園にまつわる九つのお話、いかがでしたか？  
長い歴史をもつ当園には、来園されるお客様や働いてきた職員、飼育されてきた動物、日々使われる道具や建物、そして、井の頭という土地。それぞれに想いが蓄積され、それが不思議な現象となって現れるのでしよう。  
百の物語まであと九十一。今年のお話は、ここまでです。もしかしたら、あなたのまわりで、もう一つの物語が語られるかもしれません。何かが起きたら、ぜひその物語を教えてください。井之頭百物語の一つとして、未永く語りつがれていくことでしょう。

### 動物怪談画劇

—井之頭百物語—

印刷：2013年7月20日

発行：井の頭自然文化園

非売品

絵・天野行雄

(日本物怪観光)

妖怪造形家。

全日本妖怪推進委員会所属。

日本各地の妖怪を造形活動を通じて紹介するアートユニット・日本物怪観光を主催。

観光と物産をテーマに、様々な作品を制作、発表している。

妖怪関連書籍の装画等を手掛け、角川書店の妖怪専門誌「怪」の選定する怪遺産の記念楯や、メディアファクトリーの怪談専門誌「幽」の選定する怪談文学賞の受賞トロフィーなども制作している。

著書にあかね書房「妖怪探検図鑑」上・下(文・村上健司)がある。イラストを担当している毎日小学生新聞の連載「妖怪穴」(文・村上健司)は今年で五年目。

内一〇〇話をまとめた本「怪しくゆかいな妖怪穴」の第二段「妖怪百貨店別館」も毎日新聞社より好評発売中！

谷中の雑貨店・イリアスにて「お化け物産展」、吉祥寺ビタミンティーにて本スタンプラリー連動企画「妖怪展」も開催。



JAPAN MONONOKE TOURIST

井の頭自然文化園

